

PASSION

増田会計事務所
群馬県太田市由良町136-1
TEL 0276-30-4110
E-mail masuda-ao@tkcnf.or.jp
URL <http://www.tkcnf.com/>
masudakaikei

『ホリエモン』の逮捕には本当にびっくりしました。逮捕された取締役には税理士もいましたので、本当に残念です。能力的には優秀な人たちだったのですが、どこかで道を間違えてしまったのでしょうか。京セラ創業者の稲盛氏が“人生の結果＝考え方×熱意×能力”で考え方には-100点から+100点の幅で点数が付けられるとおっしゃっていましたが、逮捕されたホリエモン達はこの考え方が間違っていたのでしょうか。いい人生を送るには、この“考え方”を誤らないようにしたいですね。

先日、当事務所の女性スタッフが月次巡回監査にお伺いした時に、関与先(瑞岩寺 副住職)さんから和顔施という言葉を教えて頂いたと、その意味の説明とともに報告がありました。地位や財産がなくとも、誰もがいつでも容易にできる布施の行、それが「無財の七施」というそうです。「無財の七施」とは、次の七つの施しをいいます。

1. **和顔施** いつもなごやかで穏やかな顔つきで人や物に接する行為です。喜びを素直に顔の表情にあらわしましょう。
2. **慈眼施** 慈しみに満ちた優しいまなざしで、すべてに接することをいいます。温かい心は、自らの目を通して相手に伝わるのです。
3. **愛語施** だれにでも明るく、温かい言葉で接することをいいます。
4. **捨身施** 自分の身体で奉仕をすること。身体で示すことをさし、自ら進んで他のために尽くす気持ち大切です。
5. **心慮施** 他のために心をくばり、心底から共に喜び共に悲しむことができ、他の痛みや苦しみを自らのものとして感じ取れる心持ち。
6. **床座施** 相手に気持ちよく座席や場所を譲ること。
7. **房舎施** 温かく家に迎えたり、場所を提供したりすること。相手に雨がかからないように傘を差し掛ける思いやりの行為など。

ビジネスで忙しい日々を送っているとつい忘れがちな人として大切な心の持ちようがこの七施にはあります。当事務所でも笑顔の大切さを常日頃からスタッフに話していますが、どんなに苦しいときや悲しいときでも笑顔になれることは素晴らしいことだと思います。頬を伝う涙を拭いて笑顔でまた頑張る。そんな人生を歩みたいですね。素晴らしい言葉を教えてくださった関与先に**感謝!**

さて、今月の推薦図書は、「見える」こと、の重要性を説いています。「見える」こと、それこそが企業の競争力であり、生命線である。現場で問題が起こったときに『見える』ようになっているか。脱線事故を起こしたJR西日本や耐震強度偽装事件に関わった会社などは現場の異常や問題を、経営陣は「見えて」いたか、「見よう」としたか。そして、現場は「見せよう」としていたか。人は全てのものを見ることはできません。だからこそ、「見える」企業風土をつくり、企業経営の品質を進化させていくのです。事例が豊富ですので、問題が大きくなる前に本書を読んで「見える」企業にしませんか。

<今月の推薦図書>

『見える化』

著：遠藤 功

東洋経済新報社 1,600円(税抜き)